



応援メッセージ

●高島市子ども家庭相談課
所在地：高島市新旭町北畑5605番地
(高島市役所内)
連絡先：☎(25)8517
☎(25)5490

子育て中の保護者の皆さん、毎日お疲れ様です。高島市役所子ども家庭相談課です。突然ですが、子どもって、かわいいですよね？しかし、実際の子育ては、かわいいだけでは

済まされない色々な出来事が起きます。家族や親戚や友人、近隣の方に話をしたり、学校や保育園、幼稚園に相談をして、悩みを解決されている方もいらっしゃるでしょう。未就園児のご家庭なら、子育て支援センターを利用されている方もいらっしゃるでしょう。このように、地域で子育て支援をしている機関はたくさんあります。

子ども家庭相談課もその一つです。家庭や様々な子育ての悩みを少しでも軽減するお手伝いをしたいと思っています。誰にも相談できない、相談したいけど、どこに言えばいいのかわからない、一人で悩んでいる方はいらっしやいませんか？各家庭に沿った情報提供ができるように努力していきたいと思えます。子育てを頑張っている人たちを応援しています。

◆ 児童手当現況届は忘れずに

児童手当を受給されている方は、6月中に現況届を提出していただく必要があります。

対象者には用紙を送付いたしますので、6月30日(金)までに市役所子ども家庭総務課または各支所保健センター(マキノ支所はマキノ児童館)に提出してください。

なお、公務員の方は、勤務先に提出してください。

子ども家庭総務課	☎(25)8136
マキノ児童館	☎(27)8187
今津保健センター	☎(22)5101
朽木保健センター	☎(38)3111
安曇川保健センター	☎(32)4413
高島保健センター	☎(36)8008

問い合わせ先

(子ども家庭総務課)

子ども家庭相談より

学校に行けない

言葉のかけ方の例

先月号で不登校への対応は、イラストしてしまつことがつきものだと述べました。どんなことでイライラしてしまつのでしょうか？子どもの言葉？助けてくれない家族？理解のない先生？多くは子どもの言葉でイライラしてしまつのではないのでしょうか。子どもは、なぜイライラしてしまつのでしょうか。

学校に行きにくくなった子どもは、ほとんどの場合、友だち関係が家族関係、あるいは両方で無理してきたため、対人関係で心が疲れてしまつています。学校に行きにくくなった子どもは、学校に行きにくくなった子どもは、友だちや家族の中で気配りし気遣いながらどうにか人間関係を保つてきています。

例えば、学校の休み時間に友だちからグラウンドで遊ぼうと誘われたとき、自分はちょっとしんどかったのが向かない。かと言ってひとり残ると友だちの和を崩してしまつて、もう誘つてもういなくなるかもしれない。だから自分がちょっと我慢すること、周りに迷惑がかからないならそれでいいか。と考えて、「はい」と元気よく外に飛び出していく。でも、子どもの気持ちや元気がよく飛び出していくまでのわずかな間に考えたことは、誰

も知らない。こうして配慮や気遣いを重ねて気持ちをコントロールしているうちに気兼ねが生まれ、家族や先生、友だちに対して良い子でいようという態度が作られます。この状況が続くと、何がしたいのか、何を感じたり考えたりしているのか、子ども自身わからなくなつてしまつます。それで、何を尋ねても「別に」「どうでも」という言葉が返つてくるようになつたり、嘘をついたりするようになり、親や先生も子どもが何を考えているのかが益々わからなくなつます。

そして、子どもの心身は、何となくやる気にならないとか頭痛や腹痛を訴えるとか、あるいは暴言を吐くとか、親や先生への拒否反応を起こしてしまつ、最終的に学校に行きにくくなつてしまつます。

普段の生活の中で子どもが話す言葉ひとつひとつを聴いてあげることが大事です。しかし、学校に行きにくくなった子どもの場合、その言動の裏側にある本心を分かつとすることも大切ですが、本心はこうなんじゃないかなと言葉にすることで、子どもが不登校になるのを防いだり、不登校状態を改善させることができます。

(子ども家庭相談課)



地域で子育て支援 ②

社会資源としての児童福祉施設

本来、全ての子どもは親、地域、社会などから愛され、守られて育ちます。しかし、さまざまな理由で、保護者と離れなければいけない時や、子ども自身が守られていない事があります。児童福祉施設は、あらゆる子どもに対応する施設で

す。身近なところでは保育園があります。(前号で紹介しています)また、児童養護施設には「保護者がいない・家庭環境に恵まれない子どもたち」が入所しています。保護者が仕事や病気、その他の理由で一定期間子どもと一緒にいられない場合は、ショートステイ(短期入所施設)を利用することもできます。

その他にも、母子生活支援施設や児童自立支援施設、各障害児施設など必要に応じた児童福祉施設があります。身のまわりに頼れる人がいなくても、ひとりきりで考え込まないで色々な手段を使い、その状況に対応できる社会資源を活用してください。そして今、地域の皆さんの力が必要です。気になる人がいたら、声をかけてみる・相談窓口を紹介する・など、地域の子育て支援にご協力をお願いいたします。声をかけられたことで、悩みを打ち明けられるきっかけになるかもしれません。子どもたちを地域全体で守っていくことは未来に繋がります。

(子ども家庭総務課)

現在の子育て家庭 ②

孤独な子育て

近年、子どもたちを取り巻く環境は大きく様変わりし、多様化しています。私たちの身近なところでも、少子化・核家族化が進んでいます。たくさんの方から、親子だけで子育てをする家庭が多くなつてきています。子育てを教わったり、助けてくれる家族や身近な人たちのつながりが

温もりが希薄になっていきます。閉ざされた環境の中での子育てになると、特にお母さん一人に負担がかつてきてしまつます。「ひとりでしっかり育てなければならぬ」と、何もかも抱え込み、思い通りにならない子育てに自分を責め、悩み、孤立していつてしまつます。

今こそ、子どもたちの健全な育ちを支えるために、地域全体で子どもを見守り、みんなで大切に育て合う社会が求められています。ひとりきりで悩まないでください。ね。お母さん・お父さんを支える家族、友達、地域の人たち：そして子育て支援センターなどの様々な分野の方々と手を取り合い、子育てをしていきましょう。ぜひ、お近くの子育て支援センターへもお気軽にお越しください。お待ちしております。

(子ども家庭総務課)



応援メッセージ

●しろふじ保育園 所在地：高島市永田1233番地1

・連絡先：☎(36)1501 ☎(36)1845

・入所児童数：平成18年4月1日現在 130人

【内訳】0歳：2人、1・2歳：22人、3歳：39人、4歳：30人、5歳：37人

こんにちは、しろふじ保育園です。私たちの保育園では、子どもたちに豊かな遊びを経験させられるように心掛けています。代表的なものとして“音楽”や“スイミング”などがあり、音楽では音楽リズム・表現あそび発表会を通して、音楽の楽しさを知り、年に一度ガリバーホールの大きなステージで発表会を行うことにより、子どもたちに自信と幼児期の感性を高めています。また、スイミングでは年長児を対象に毎月2回、近くにあるB&Gの温水プールなどに入り、子どもたちの運動能力の低下防止に努めています。豊かな遊びをこの時期に経験することにより、人格の基礎は形成され、遊びの中で正しいつけや決まりを守る心が育むからです。

私たちしろふじ保育園では、充実した保育内容で思いやりのある素直で明るい子どもたちを育てられるように努めています。

お子さま一人一人を大切にあなたがい子育てができるように応援しています。

